

破壊か?
創造か?



バンクシー



抗うものたちのアート革命

BANKSY
AND THE RISE OF OUTLAW ART

世界のグラフィティで最も有名なバンクシー が築き上げた帝国 そして世の人々に刺激を与えたムーブメントの秘話。

グラフィティが描かれることでそこに壁があることがわかり、壁の内と外があることがわかる。僕らが囲い込まれている“社会”の壁に出現し、壁そのものの意味を問い、その外側を指し示すのがストリートアートの役割だ。バンクシーはプリストルの壁の向こう側に何を見たのか？それを想像するだけでワクワクしてしまう。

突如現れた、まるで物語のヒーローのようなバンクシー。時代の流れが生み出した己の生き様とアートが大調和し、その清新な魂が鑑賞者の心に火をつける。自己批判と共に自分の役割を一貫して全うし、今を生きる我々に問題提起し続ける。そんな存在なのではないだろうか。本当の革命とは、純粹であり、無邪気であり、祈る行為であり、深い思慮の彼方に辿り着く境地と真実なのだ。

ダースレイダー (ラッパー)

小松美羽 (現代アーティスト)

持たざる者が創った文化は無秩序で奔放であり、既存の社会と衝突する。ストリートアートに内在する大衆性とバンクシー作品のメッセージ性が若者と共鳴し、社会に疑問を投げかける。名声を手に入れてもなお自らを含めた様々なものに関わり続けるバンクシーの強靱な知性に魅了された。

バンクシーの作品が好きだ。でもこの映画はたとえバンクシーの芸術を必要としない者でさえ、いやそういう傾向の人がむしろ、より見る価値があるという顛倒が起こりかねない内容だと思う。なぜならば、人生は生き切ったら勝ちだという、まったく野蛮過ぎて日本では蒸発してしまった価値観が、全編に渡って表出しているからだ。

Revol (eスポーツキャスター / 解説)

名越康文 (精神科医)

バンクシーの政治への批判や、社会に対し挑戦的ともいえる大胆な活動は、権力社会を激怒させながらも、20年以上にわたり人々を魅了してきました。彼は未だ謎であり、彼の人生については、ほとんど知られていません。日本では初上映となる「バンクシー 抗うものたちのアート革命」は、犯罪サブカルチャーのルーツから芸術革命のリーダーにまで上り詰めたバンクシーのドキュメンタリー映画です。少年時代からのバンクシーを知るジョン・ネーションや、共に活動してきたアーティスト達への何時間にもわたる豊富なインタビューから、バンクシーがどのようにして生まれたのか？バンクシー自身のこれまでの実績に基づき忠実に作られた、未だ知られざるバンクシーの一面が見えてくる……！ そんなドキュメンタリー映像。

出演：バンクシー / ジョン・ネーション / フィレックス・FLX・ブラウン / インキー / スティーブ・ラザリデス / ベン・エイン
監督・脚本・編集：エリオ・エスバーニャ ナレーション：マーク・ホルゲート 音楽：ビート・ウェイツ
提供：TOMOKA LTD, FATHBES / TRIBE / F.A.I 配給：one's 配給協力：マウンテンゲートプロダクション 宣伝：中道真記子 / 戸根美雪
2020年 / 113分 / 言語：英語 / DCP / 5.1ch / ビスタ 原題：Banksy and the Rise of Outlaw Art Photo by Getty Images(一部使用) © Spiritlevel Cinema Ltd

Twitter: @banksy_cinema Instagram: banksy_eiga Facebook: /eizobunkakakushin

G 映倫 49636

5・19 FRI
ROADSHOW

池袋駅西口・東武百貨店隣接ルミネ池袋 8F
テアトルシネマグループ
シネ・リーブル池袋
03 (3590) 2126 ttcg.jp

明治通り沿い 地下鉄 B1 出口正面 ココチビル 8F
テアトルシネマグループ
ヒューマンラストシネマ渋谷
03 (5468) 5551 ttcg.jp

吉祥寺 PARCO B2F
UPLINK 吉祥寺
0422 (66) 5042 joj.uplink.co.jp